

# 決算説明資料

2017年3月期第1四半期



Listed Company 4241

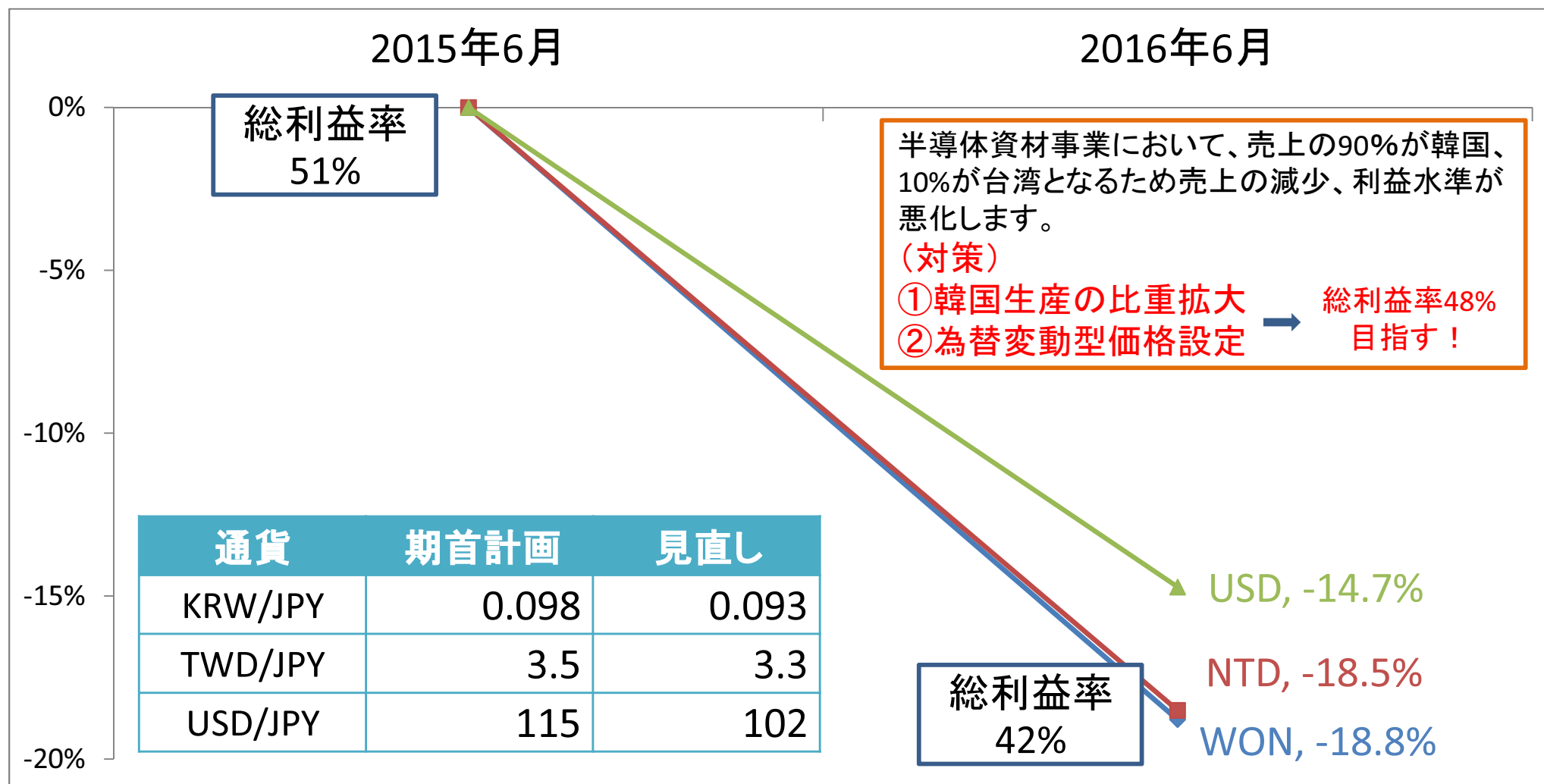
2016年8月  
株式会社アテクト

# 連結通期予想の見直しについて

	2016年3月期	2017年3月期 期首計画	2017年3月期 見直し	理由
売上高	2,473	2,650	2,545	①円高・中国経済失速により 半導体資材事業売上減少 ②P I M材料販売中止及び抑制
総利益	1,203 (48.6%)	1,290 (48.7%)	1,219 (47.9%)	円高による利益減をその他事業で吸 収総利益率は高水準を維持
販管費	967	1,020	1,015	①P I M事業の為の人員補強 ②研究開発費の増加 ③新工場立ち上げ費用
営業利益	235 (9.5%)	270 (10.2%)	204 (8.0%)	販管費は計画通り⇒営業利益低下
経常利益	140	220	124	外貨建て資産為替評価損拡大の見込
当期純利益	75	120	40	新工場移転に伴う構造改革費用 △60百万円を計上

円高、中国経済失速による半導体資材事業とPIM事業の材料販売の抑制の2点による売上高見直しの中、将来の事業計画達成に向けた先行投資となる「ヒト・モノ・カネ」の経営資源の投下は計画通り実行するため、販管比率が拡大し、営業利益額・率共に悪化します。外貨建て資産の為替評価損により、営業外損失が拡大します。

# 為替レートと半導体資材事業の総利益水準



ドルに対し韓国ウォン、台湾ドルの下落幅拡大

# 第1四半期業績概要

(単位:百万円)

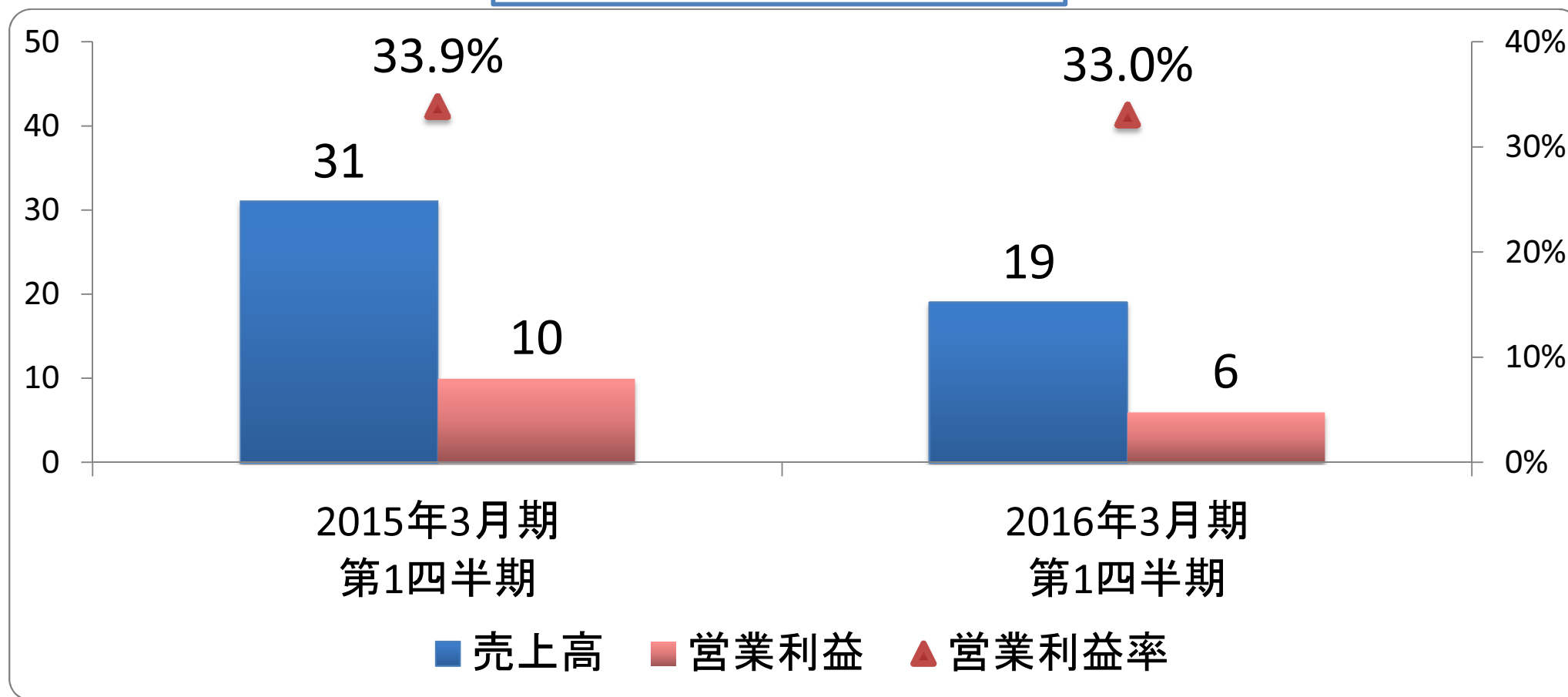
	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	623	596	-26	-4.3%
営業利益	87	38	-49	-56.2%
経常利益	86	-8	-95	-110.4%
第1四半期 純利益	60	-8	-69	-114.1%

- ・円高の進行、中国経済の減速、PIM材料販売の抑制など、売上高が低調に推移しました。
- ・第1四半期決算日為替レートが著しく、円高、ウォン安・台湾ドル安に振れたことで営業外費用として、為替差損56百万円を計上致しました。

# セグメント別業績：PIM事業

(百万円)

38.3%減収・39.8%減益

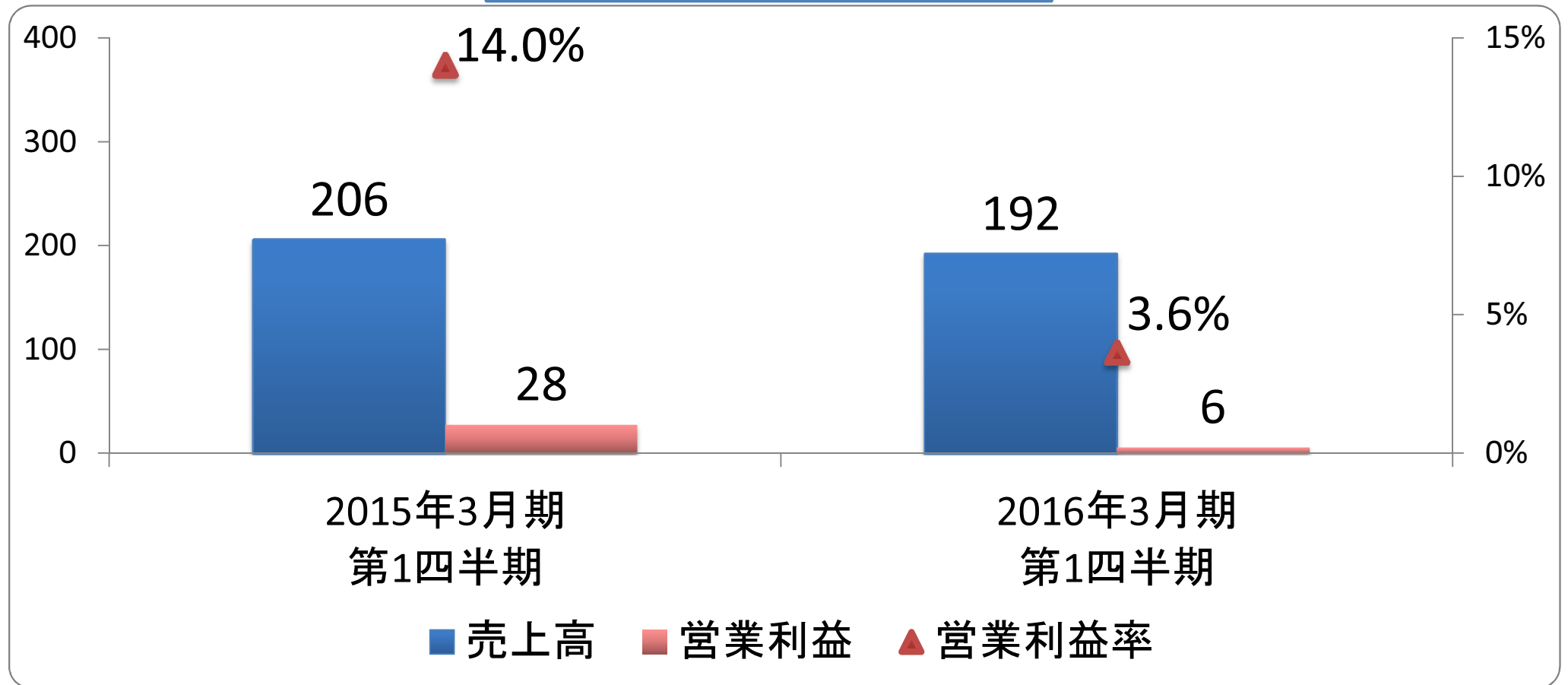


前期120百万円の売上高の70%以上を占めていたバインダー、フィードストック等の材料の拡販の中止及び抑制を決断、減収・減益となりました。

# セグメント別業績：半導体資材事業

(百万円)

6.7%減収・75.8%減益

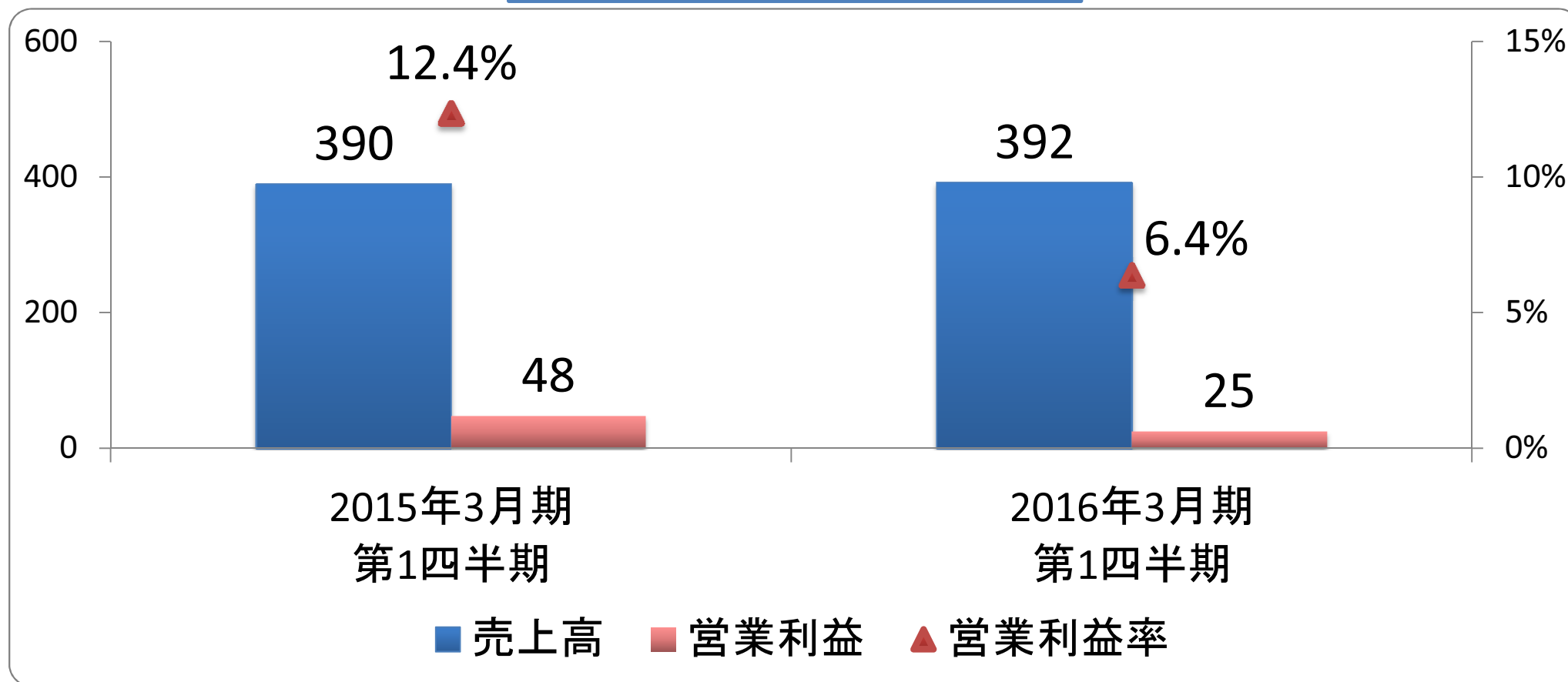


円高の急激な進行と中国経済の失速が続く中、液晶テレビの需要回復に至らず、減収・減益となりました。

# セグメント別業績：衛生検査器材事業

(百万円)

0.6%増収・48%減益



四半期単独で過去最高の売上高となりました。総利益率についても48.3%と高水準を維持しておりますが、販管費の増加により、減益となりました。

## PIM事業

### 材料販売の販売拡販中止、抑制

当社のコア技術であるバインダーはセラミックス、金属各種、製品スペックに合わせ、ラインナップされていますが、同業のMIM・CIMメーカーや特に中国市場への販売は当社が注力するセラミックスボールベアリング・自動車用ターボ関連部品・パワーデバイス部品などの今後の事業拡大の足かせになると判断しました。

#### ➤ ターボ関連部品

- ・大手ターボメーカー向けノズルベーン金型の製作完了  
⇒承認サンプルの製作及び、外部委託機関に半年間を要する評価試験を発注
- ・排気系耐熱部品として従来のステンレスからニッケル基超合金化したウェイトゲートバルブの試作に成功⇒大手自動車メーカーへの第1回試作品の出荷を完了



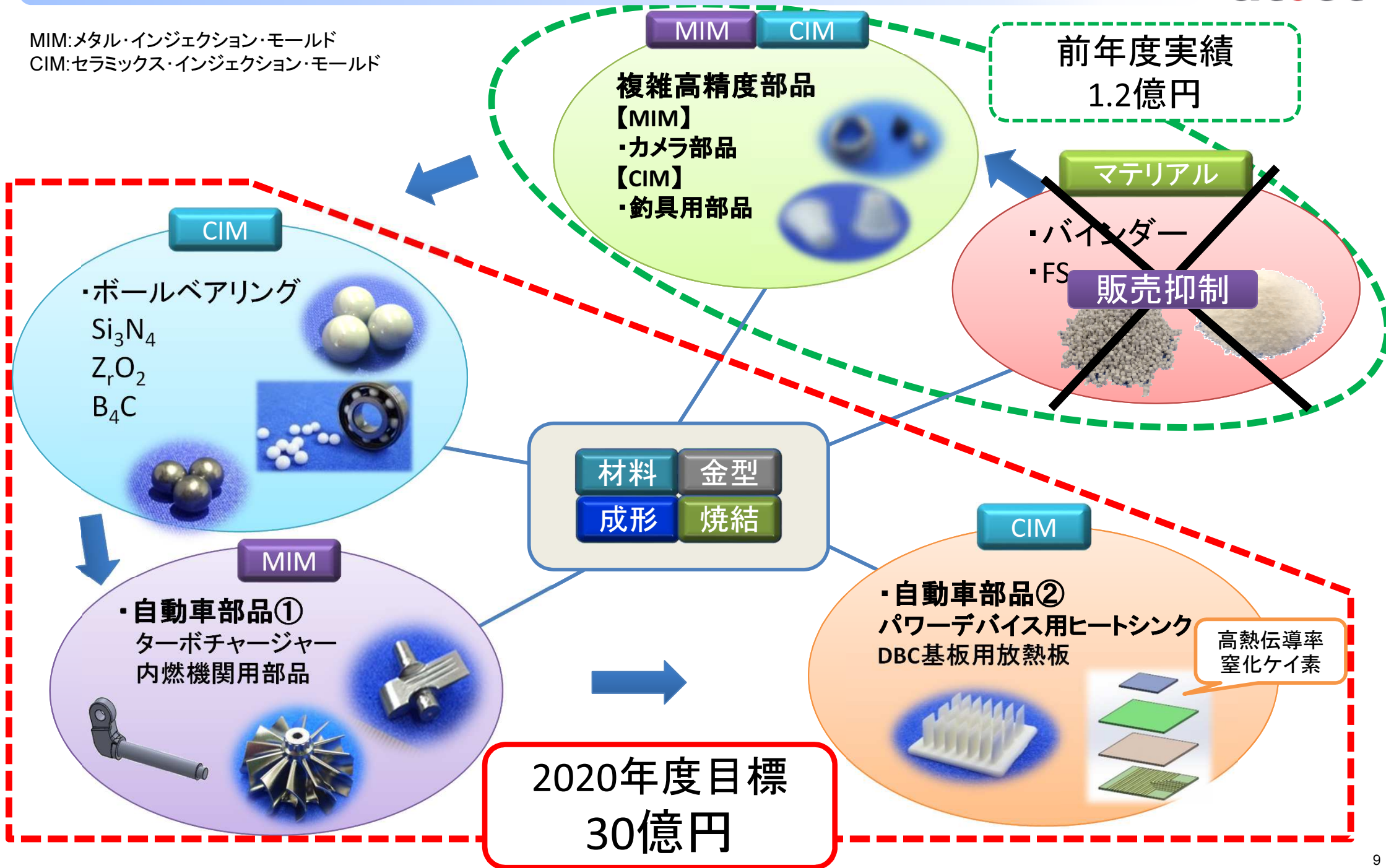
#### ➤ セラミックスボールベアリング

- ・従来のプレス加工では不可能であった、バリレス、ポア(空泡)レスによるHIP処理(熱間等方圧加圧加工)の排除を目指した商品開発を加速
- ・更に2社との基本契約を締結し、国内大手3社、海外大手1社と業界標準の性能試験法を同時進行中



# PIM事業: 拡大サイクル

MIM:メタル・インジェクション・モールド  
CIM:セラミックス・インジェクション・モールド



## 半導体資材事業

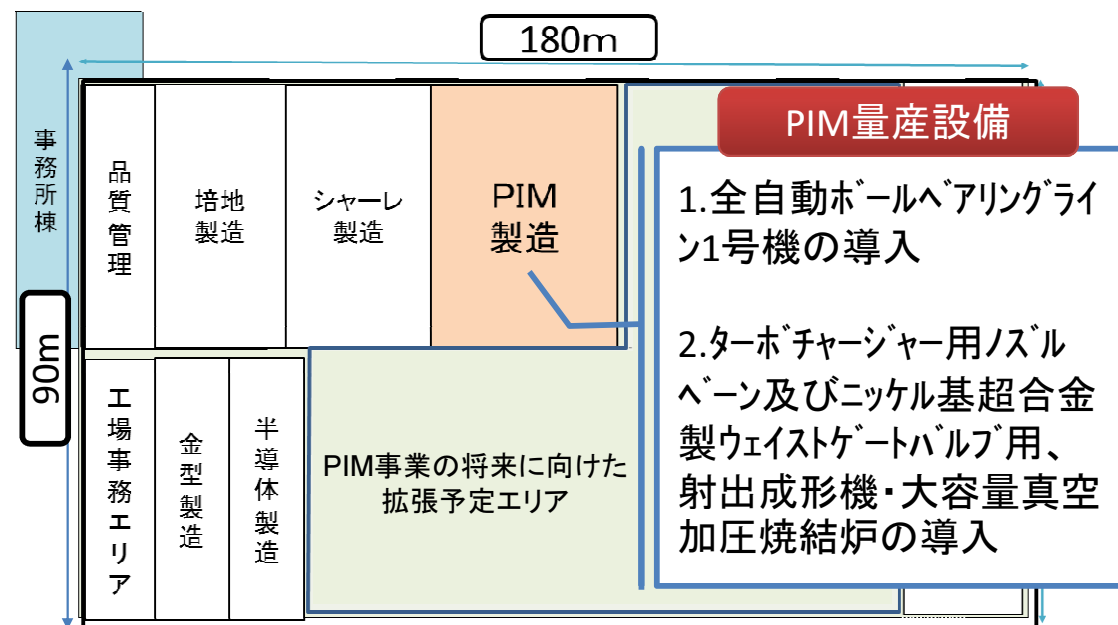
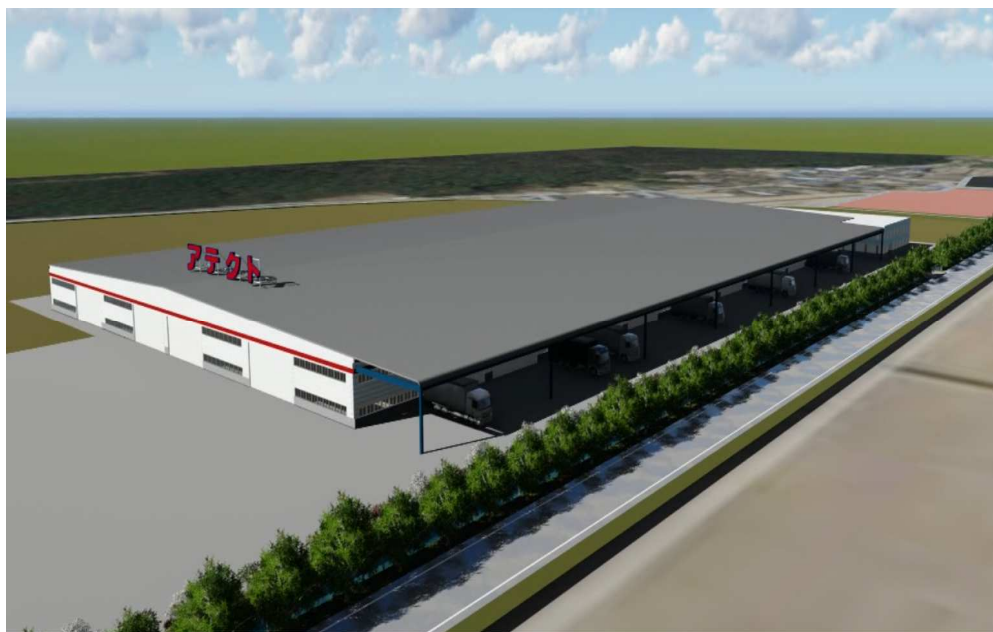
- 韓国及び台湾顧客に対し、為替に連動した販売単価の見直し
- 韓国工場にウエイトを置いた生産体制へのシフト  
総利益率42%から48%への改善を目指す！

## 衛生検査器材事業

- シャーレ製品の主原料であるポリスチレン材料価格の安定と生産変革活動の推進(総利益率:44.9%)
- 培地製造における生産変革活動による省人化と歩留まり100%プロジェクト活動の推進(総利益率57.7% ※当社製品の中でも群を抜く高収益率)
- 顧客データの最適化によるテレマーケティングの効率化→受注獲得率の向上により、四半期単独では最高の売上高

# 新工場進捗

atect



1. 事務所エリアの改装 : 9月末完了、衛生営業活動開始
  2. 工場改築 : PIM・半導体資材・シャーレ・培地の4製造エリア完成 2016年11月末
  3. PIM新規設備 : 大容量真空加圧焼結炉・最新鋭射出成形機・全自動ベアリングインラインシステム2017年2月末導入
  4. シャーレ新規設備 : ハイサイクル全自動成形システム 2016年12月末導入
  5. 半導体資材事業既存設備移設完了、2017年1月末
- ※PIM、培地、シャーレ既存設備の個別製品の移管時期については現在精査中ですが2017年3月末には全て完了予定です

PIM事業の新規量産設備について設計に着手⇒2016年11月以降に随時導入予定

## 免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

## 本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理統括部 IR担当

TEL:072-967-7000

E-mail:ir@atect.co.jp